教育委員の活動/学校教育

<mark>分野</mark>		具体的事業•施策項目	実績	課題
Α	・町民の教育行政ニーズ多様化への対応	1 委員会の開催状況	·定例会 12回 ·臨時会 5回	・中長期的な計画等の積極的論議
A·教育委員活動	教育関係法改正に伴う新理念の定着・今後の幼児教育の推進	2 視察・研修状況	・学力・学習状況調査で常に上位にある福井市の1小学校、1中学校を視察し、その取組について視聴し、大いに参考になった。	・学校・家庭・地域が協働して、地域の教育 課題の解決への取り組み
		3 学校訪問 (幼稚園、小学校、中 学校)	·春季(授業見学、諸帳簿精査) 県教育委員会同行 ·秋季(学校施設点検)	・わかる授業への創意工夫 ・幼稚園施設の老朽化対応
	・学習意欲の向上と学習習慣の定着	1 特別支援教育の充実	・夏季親子教育相談の実施・就学指導委員会での就学判定	・医療、福祉、教育との連携の強化を促進する。 ・特別支援教育コーディネーターのスキルアップ
	・食育の推進	2 食育の推進	・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の継 続実施	・今後の運動展開へ向けた「総括」の分析
	・中学校給食実施への取り組み		・地場産野菜を給食への食材利用	・地場産野菜の確保と安全供給の確保
	・自然体験、勤労体験、ボランティア活動		- 中学校給食の実施	・給食運営委員会の設置と運営
	を通した自立心、思いやり、社会性、豊 いな心の育み	3 教育環境の整備	(1) 就学・就園の援助 ・町奨学金支給 ・要保護、準要保護	(1)就学·就園の援助 ·対象者への援助該当可否判断の明確化
B .	・特別支援教育の体制整備		- 幼稚園就園奨励費補助金	(2)各学校・園の修繕等
学校教育の充実	・スポーツ活動の振興		・中学校生徒補助金 ヘルメット購入、部活動 卒業生対策、生徒指導行動(2) 各学校・園の修繕等	・修繕箇所の更なる調査・検討と大規模改修 の年次計画策定 ・幼稚園の統合計画も踏まえた園舎耐震診断 の実施
		4 教育相談の実施	「心の相談室」・「まなび相談室」・「子どもと親の相談室」・「スクールカウンセラー」・「かたらい教室」・スクールサポーターや臨床心理士の配置等	・最近の動向把握など相談員の情報取得のためのスキルアップ ・相談室との連携強化
			4名配置	・子ども読書活動推進に向けた取り組み
		6 幼稚園教育の充実	・各園の現行園児数 東幼 33人、西幼 48人 西第二幼 73人、北幼 44人 真美一幼 82人、真美二幼 66人 合計346名 (H26.5.1現在)	・幼稚園教育資質向上のための授業の創意工夫・幼稚園の統合

地域ぐるみの子育で/子ども放課後対策/家庭教育・幼児教育

<mark>分野</mark>	基本目標	具体的事業•施策項目	実 績	課題
・地域ぐ	・保護者や地域の人々に対する教育への 積極的参加 ・地域としての学校支援への体制構築	1 学校・地域パートナーシップ事業	・長期休業中の補助等・家庭科や図工等の授業補助・図書室活動支援・文化芸術(茶道・お花等の授業補助)・登下校の見守り活動・手話	・各学校の要望に対する支援ボランティアの 効果的な支援 ・支援ボランティアの確保
るみの子育			・PTA指導者研修会の実施 ・関係機関と連携した町内巡視の実施	
てと教育		3 子ども安心メール事業	・登録者数 1,707人 ・メール発信件数 129件	・情報伝達の充実と確実性を図るためのあり方 の検討
D·家庭	・幼児期は基礎的人間形成の重要時期と の認識に立つ	1 子育て支援事業	・各園、年12回「子育て支援教室」 を開催 (6月〜翌年3月)	・子育て支援教室は園長が中心となって進めているが対象となる未就園児の参加が多い園では親の相談や子どものサポートをする支援員が必要である。
教育/幼	・町長部局と連携した「心身ともに健やかな子ども」の育成	2 家庭教育学級	・家庭教育学級の開催回数 幼稚園、小学校、中学校で各3回	・家庭をめぐる今日的な課題や、今後のあり方についての研修実施
児教育				

生涯学習

<mark>分野</mark>	基本目標	具体的事業·施策項目	実績	課題
E・生涯学習の発展強化	・一人ひとりの自己実現をめざす ・生涯にわたる必要な知識や技能の習得	1 社会教育活動	・会議の開催年2回(打合せ会議3回程度)・世代間交流事業の実施	・各種研修会の参加促進 ・社会教育団体との懇談 ・広陵町での民話・方言・行事等のとりまとめ
	・町民の資質や能力向上のため必要に応じた学びの環境づくりの推進	2 文化祭	・各種大会等の参加と町行事出席 ・第53回文化展覧会 457人・673点の出展 と1,772人来館 ・中央公民館活動発表会 ・幼稚園児絵画展 ・保育園児作品展 ・文化歴史講演会と発掘速報展	・文化展覧会における展示スペースのレイアウト・来館者に対する駐車場の確保
		3 成人式	 ・子ども映画鑑賞会 ・中学生絵画展 ・成人式実行委員が主となっての式典進行 ・対象者 420人 (町内 393人 町外 27人) ・参加者 335人(対象者の79.8%) 	・式典終了後の記念撮影のスムーズ化
		4 公民館活動	・各種教室・講座等の開催 「教室」、「講座」、「講習会」 「実年学級」、「婦人学級」 ・公民館活動育成クラブ 58クラブで 829人が活動	・新しい講座・講習会の創設の検討 (近隣自治体などの事例を研究) ・育成クラブの運用と認定
		5 施設利用	・中央公民館の施設利用者数2,845件・35,783人	・町内利用者の冷暖房使用料の徴収
		6 図書館	·登録者 (町内 14,234人、町外 13,728人) ·蔵書冊数 268,705冊 ·入館者数 219,134人 ·貸出冊数 486,291冊	・「広陵町こども読書活動推進計画」に基づき、 町立図書館として積極的な環境整備の推進

社会体育の充実/文化財の保存と活用/人権/青少年健全育成

<mark>分野</mark>	基本目標	具体的事業·施策項目	実 績	課題
F・社会体育の充実	・生涯スポーツの情報と機会の提供 ・体育指導員や体育協会との連携・協力 に伴うスポーツの振興	1 生涯スポーツの振興2 施設の利用	 ・第56回春季町民総合体育大会 9種目・1,154人・20チーム参加 ・第43回秋季町民総合体育大会 10種目・356人・24チーム参加 ・第56回町民マラソン300人参加 ・総合型地域スポーツクラブの設立支援 ・各施設の利用者数 中央体育館 1,376件・17,073人 ミニ体育館(4館)5,118件・67,782人 運動場(4箇所) 767件・21,187人 テニス(4箇所) 2,944件・18,478人 	・生涯スポーツに対する住民の意識高揚・健康づくりに必要な情報提供と施設利用の拡大 ・ 行政主導で設立されたことから、設立後行政に依存する傾向が強く、総合型クラブの理想である住民主体のクラブ運営に移行ができていない・社会体育施設の管理委託等による・軽スポーツなど新種目への設備充実・ミニ体育館利用者のマナー向上・ミニ体育館利用者のマナー向上・流設の維持、管理、改修
G・文化財の保存と	・豊富な文化財を後世に引継ぐための 調査と修理 ・文化財に対する防災対策と保存施策、 活用	3 町民体育大会 1 文化財	・第43回町民体育祭 3,252人参加 ・調査関係 巣山古墳第15次発掘調査 斉音寺遺跡第2次発掘調査 ・遺物整理 出土遺物の洗浄・接合・実測作業 ・啓発関係 文化財ガイド24名、案内6,839人 ・歴史資料館の建設に伴う視察研修	・町民が参加しやすい種目内容の導入 ・保存センター展示事業の見学者の増員を図る工夫 ・県外からの史跡・寺社見学者に対するボランティアガイド活動のアピール ・歴史資料館の規模、内容の検討
と活用		2 巣山古墳の整備	・墳丘・外堤の葺石調査 ・墳丘・外堤の護岸工事 ・巣山古墳出土木製品保存処理	・周壕が灌がい用溜池であり、農繁期には貯水が必要となるため、発掘調査期間が 短期間に限られる。
H· 人権	・人権尊重の理念に対する理解と体得・関係団体との連携による多様な学習機会の提供と、人権教育施策の推進	1 人権教育の推進	・広陵町人権教育推進協議会 役員会及び総会 各 1回 人権セミナーの開催 2回 人権スポットの散策 1回 ・関係団体との連携 総会への協力及び参加 2回 研修会、講習会への参加10回	・中長期的な人権教育計画等の積極的論議

社会体育の充実/文化財の保存と活用/人権/青少年健全育成

<mark>分里</mark>	基本目標	具体的事業•施策項目	実 績	課題
Ⅰ・青少年健全育成	・定例巡視や立哨指導を行い、健全育成の助長 ・警察署と連携し、地域社会を守る	1 青少年健全育成の為の様々な活動	青少年健全育成協議会 ・委員会及び総会各1回 ・祭り等にともなう町内巡視活動5回 ・研修会等への参加4回 ・啓発活動等2回 ・定例巡視及び立哨15回	・携帯電話、スマートフォンといった接続機器の普及による時代環境への取り組み